

昭和60年 3月20日 第17号

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

発行所 〒101 東京都千代田区神田須田町1-18(共同ビル8階) 東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 TEL 03(254)5691 発行人 榊原 正平

「60年代の都市問題と労働環境」

研 修 委 員 会

日 時 昭和60年2月8日

場 所 電設工業健保会館

講 師 芝浦工大教授工学博士 相 田 武 文 氏



今回の研修は少し次元を異にして、建築家の方をお願いしました。講師の相田先生は、大学で教鞭をとられるかたわら、都市問題にも積極的に関与され、また先

般東京都が硫黄島に「鎮魂の丘の碑」を建立した際、その設計をされた方でもあります。

今回の講座は、スライドを使って出席者にもわかりやすく、興味深いものでした。中で

も、道幅と建物の高さとの関係についての話は、出席者に深い関心を抱かせました。横浜の馬車道や元町、中華街のスライドはそれを実証するものでした。

日本のシャンゼリゼと言われる原宿は、看板が少なく街路樹が多いのは、建築の理論にかなっていると言われて、なるほどと思いました。最後に、緑の多いことは労働環境に良い影響を与えと言われていたことが印象に残りました。

多くの出席者、ことに女性会員に大きな反響があったようです。

専門業務自主研究活動状況

広報委員会

標記「専門業務自主研究活動」の各グループに下記の通り当支部会員が参加して居ります。今後において参加を希望される方は直接

リーダーまでご連絡下さい。今回ご協力頂きました各リーダーに対し、厚くお礼を申し上げます。

1. 雇用

(1) 要員管理

◎金網 久夫(291)4167 〒101 千代田区神田 3-11 インペリアル御茶ノ水901
該当者なし

(2) 人事管理

福田 徳一(342)6085 〒160 新宿区西新宿 6-12-22

渡辺 和洋

白岩 三郎(827)8251 〒113 文京区千駄木 5-46-5

森 莞子・篠崎 光男

深沢 雅(322)1519 〒168 杉並区和泉 1-16-13

該当者なし

(3) 教育訓練

佐藤 武司(389)0889 〒164 中野区上高田 5-12-2

◎富田 四郎(567)3079 〒104 中央区銀座 1-13-6

芳賀 正弘(777)5639 〒143 大田区南馬込 1-9-2 306

赤森 伸子・河嶋 平助・國岡 きく

2. 労働条件

(1) 賃金管理

◎石原 健三(294)5307 〒101 千代田区内神田 1-16-12 石原ビル

高嶋 博

◎柏木 弘文(295)4651 〒101 千代田区神田錦町 3-13-1 旺巧ビル

浅香 博胡・山本 金治

山本 勇(875)4411 〒111 台東区浅草 6-21-14

該当者なし

榎井富士弥(368)6717 〒160 新宿区百人町 1-15-13

北野 茂

高根 靖幸(314)5411 〒166 杉並区高円寺南 4-37-17

該当者なし

辻 英夫(478)0371 〒106 港区六本木 7-17-12

高場 清海・後藤 巖

小林 昌尚(688)1181 〒134 江戸川区中葛西 3-11-2

該当者なし

◎大槻 哲也(562)3095 〒104 中央区銀座 1-13-4 三輪ビル 3 F

富田 秀子・渡辺やす江

(2) 労働時間管理

大西 利尚(882)8448 〒120 足立区千住旭町 21-14

該当者なし

3. 人間関係

芳賀 正弘(777)5639 〒143 大田区南馬込 1-9-2 306

永島 セツ

4. 安全衛生

青山 博(785)0302 〒142 品川区豊町 2-18-9

該当者なし

5. 労務計画・労務監査

◎新堀 英行(254)1955 〒101 千代田区神田須田町 1-20 石神会館

雨宮 功・藤原久嗣・小山 昇・藤野敏寛

6. 労使関係(世話人)

安井 信治(972)7737 〒171 豊島区長崎 1-11-12

大槻 哲也・渡辺やす江・高場 清海

須藤 好雄

7. 労働・社会保険

中村 潤三(321)2119 〒168 杉並区方南 1-9-7

該当者なし

◎千賀 綾二(241)5672 〒103 中央区日本橋室町 4-6 サカイビル 3 F

白石 徹雄・行成 壮一

小久保一郎(416)8369 〒157 世田谷区宇奈根 1-34-13

橋高 正風・山内 芳信

新春を寿ぎ支部賀詞交歓会が 華やかに開催さる

広報委員会



去る2月8日芝浦工大教授相田武文氏の講演会終了後電設健保会館において関係行政機関より多数の御来賓を迎え支部賀詞交歓会が盛大に開催されました。

新井厚生副委員長の司会進行により、榊原支部長による新年のご挨拶に続き、四社会保険事務所を代表して平賀麴町社会保険事務所長、桐谷中央労働基準監督署長、飯田橋職安山脇管理次長、江川中央労政事務所長、中西連合会会長、橘高東京会会長のご祝辞を頂き

その後ご来賓の方々のご紹介があり、新堀第一部長の音頭による初春を寿ぐ乾杯が華やかに行なわれ懇親の宴へと続く。

お互いに杯を交し合いながら、なごやかに楽しい一ときをすごし浦木副支部長のいっものながらの名調子の中めで宴は終り、懇親の実をあげ散会となった。

終りにお多用の中をご臨席頂きました関係行政各位に厚く御礼を申し上げます。

「パート労働相談」を担当して

永 島 セ ツ

去る3月6日～8日の3日間中央労政事務所
所で同所主催のパート労働相談が実施された。
このことは都の広報紙「みんなのとうきょう」
等で都民に知らされ、パートの抱える諸問題
についての相談を社会保険労務士、税理士、
労働基準監督署と職業安定所の各担当官とで
担当した。

当支部からは大槻、長森両副支部長と私の
3名が派遣され健保、年金の相談に応じた。

私の担当したケースに年金受給中の高齢者
をパートとして雇う際の社会保険の適用につ
いての相談があった。健保、厚年には加入さ
せず雇用保険のみに加入させたいがどうかと
いう内容であった。

65歳未満の低報酬被保険者への老齢年金支
給という法制下で、高齢者の賃金相場が平均
して高卒初任給以下という実態がある。

労働者は自己の受け得る賃金プラス年金の
額が最大となる条件で働きたいと望み、使用
者にはより安い賃金で雇用しコストの軽減を

図りたいという思惑がある。双方の意向から
問題をはらみながらも以上のような現実とな
る。

パートの問題はすぐれて女性と高齢者の問
題であるといわれ多くのむずかしさを持つ。
パート労働者の増加に伴う雇用環境の変化
は「パート労働対策要綱」を生み出した。

異質の存在として関心を示さなかった労働
組合もパート労働者を組織に組み入れ、共に歩
もうとする傾向が見られるようになってきた。

働く側の意識の変化とニーズとによりパー
ト労働は従来の量としての存在から今後は量
と質との二極分化の方向へ進展していくこと
になるであろう。

私達社会保険労務士にもこの新たな局面へ
の対応が要請され、期待されているというこ
とをこの相談を担当して痛感させられた。

シテ役である関与先の労使のための助言者
として良いワキ役であることに徹したい。

(永島社労事務所)

労働保険説明会

広 報 委 員 会

場 所 (社)中央労働基準協会
○第10回 昭和60年1月16日
講 師 中央労働基準監督署
給付調査官 岩下 末義氏
" 会員 富田 秀子・関口 尚孝
出席事業所 23

○第11回 昭和60年2月12日
講 師 中央労働基準監督署
適用指導官 池野 富雄氏
" 会員 大槻 哲也・渡辺 和洋
出席事業所 17

○第12回 昭和60年3月11日
講 師 中央労働基準監督署
給付調査官 森田 正美氏
" 会員 森萩 忠義・北野 茂
出席事業所 20



現代程、高齢者に専門的教育が必要な時はないと思う。高齢者社会を迎えた云々の記事は、テレビは勿論のこと、新聞雑誌に書いてないものはない位に書きたてゝいる。にも拘らず、それに対処する術は、何も書いてない。寧ろ生きている高齢者が邪魔で、早く消えてなくなれといわんばかりに聞こえてくる。時が過ぎれば、あっという間に高齢者に入る自分達なのに、これをどのように生き、どのように共に喜んでいくかを研究していかないのでしょいか。

それには、高齢者社会を生き抜くための専門的教育を、各分野にわたってどんどん押し進め、生き甲斐のある生活を研究し、実施されんことを、切望して止みません。

高齢者とは、何歳からをいうのであるかも定かでないような気がする。60歳からなのか、65歳からなのか、又70歳以上をいっているのかも知れない。

高齢者教育については、高齢者福祉事業として、(財)厚生団が政府の委託を受け、老人大学として、一般教養講座、健康講座、健康実技、趣味の学習と、バラエティに富んだものをやっていると聞いている。もっともっとその中に、専門的教育を入れて宣伝して欲しいと思う。この4月からスタートする放送大学に、夫婦合わせて172歳の人が合格した記事が週刊誌にのっていたが、ボケないための食生活を研究したいということだった。高血圧はもう病気ではないという医者もあるので、どこまでこの専門分野の勉強をしたらいいかかわからない。

先日の健康づくり講習会では、「歩け」と教えて貰った。勤務時間外に歩くことだが、これが健康に通じ血管に血液がよく流れコレステロールが溜らない。食事療法もうんと勉強すれば、高齢者が又増加してくるかも知れない。増えて結構だと思う。

高齢者の専門的教育の必要性は、高齢者に健康で、生き甲斐のある仕事をこの世の終末まで、働き続けて欲しいとの要望からで、仕

事は楽しい、仕事をしているから健康なんだということにもっていくべきである。病気勝ちな人、通勤が困難な人は問題外となる。具体的には仲々むづかしい問題が多々あると思うが、各分野に分かれ、1ヶ月単位、火木土午後6.00~9.00、50時間位の勉強で挑戦する。教材は支給会費制とする。といった具合に。

雇用保険法の中に、高齢者採用云々はあるが、研修を受けた者には、カード又は手帳を発行し、必ず記録し、その人の実績とする。またこれを雇用の際の履歴書とする。又採用した会社が増えるよう行政指導し、採用した会社は、一年一回褒賞する。定年云々、退職金の問題等は問題外とし、冠婚葬祭にはあまりこだわらない。

高齢者が雇用されれば、掛金収入が増加し応分の負担をしていくから、高齢者社会だから云々の批判は多少減ってくるのではないか。

今国会で審議されている、厚生年金法の改正案について、先日研修を受けたが、次から次へと法の改正による面倒なことが起きるものだ痛感した。新聞には共済年金も改正されると報道していたが、大変なことだ。

高齢者は事故も起きやすい。事故防止には万全を期したい。バイオリズムで自分の身体の天気図を知ること、習って欲しい。

人生には定年はないし、あと戻りはない。しかし必ずやってくるのが終末だ。そしてその日は本人は勿論、誰にも解らない。

高齢者に勇気を出して、専門分野の教育を実施し、教養講座は補足的なものとして欲しい。健康づくり運動がやかましくさげばれているが、この分野は無限ではないかと思われる。教育をしても、その応用は短かいかも知れない。しかし高齢者が生き甲斐を感じ、健康でしかも長生きできるならば、これ程幸福なことではないでしょう。

高齢者社会に生きる1人として、1日も早く高齢者に専門的分野の教育をと提唱する。

(清水社会保険労務士事務所)

野球同好会新年会のご報告

千代田・中央支部野球同好会

いよいよ昭和60年代に入り、皆様方にも益御活躍の事とお喜び申し上げます。

さて、当野球同好会も昨年納会以来久し振りに選手一同の心も新たに、過ぐる2月9日10日両日に涉り、千葉県白子の製本健保組合白子荘において、会員並に賛助会員18名の出席のもとに新年会を行ないました。

当日は、白子荘到着後早々に海岸でトレーニングを行なう予定でしたが、久し振りの雨で、室内でのミーティングとなりました。雨宮監督、寺田主将を囲み、活発に野球理論を展開いたしました。

また宴会では、新入会員の紹介に始まり、

特別参加の東京会の職員の方、また賛助会員の諸先輩と野球についての話合いは、夜の更けるのも忘れ興じました。そして翌朝は、雷をともなった烈しい雨も上がり、朝食前に若手選手を中心に、波のおだやかな九十九里の浜辺をランニングし、朝食では、東京都社会保険労務士会の野球大会の三連覇を誓い合っ

て新年会を終了しました。
最後に、諸先生方並に賛助会員のご援助と、製本健保組合の皆様方のご助力を厚く厚くお礼を申し上げます。

(マネージャー 新井功一)

“新規開業会員の皆様へ名札掲示のお知らせ”

広 報 委 員 会

新規開業者、事務所移転等により名札掲示を希望される方は、下記の通り担当して居りますので、ご連絡の上詳細をお打合せ下さい。

尚中央労働基準監督署は、今回の移転によ

り新しく製作することになりますので、改めて全員の申込みをお願いすることになります。詳細は後日ご案内申し上げます。

○麴町社会保険事務所	副支部長	長森 敏泰 (264) 6871
○神田社会保険事務所	副支部長	新堀 英行 (254) 1955
○日本橋社会保険事務所	幹 事	千賀 綾二 (241) 5672
○京橋社会保険事務所	副支部長	大槻 哲也 (562) 3095

あ と が き

桜の便りがチラホラ聞かれる頃になりました。本年度は労働保険、社会保険等色々改正が行われました。私達会員は努めて研修会に、出席の上、新年度の行事に向けて元気良く健闘邁進致しましょう。